



Nikon  
100<sup>th</sup>  
anniversary

株式会社 ニコン

# 2018年3月期 決算報告

2018年5月10日

- 本資料で記述されている業績予想並びに将来予測は、現在における入手可能な情報に基づき当社が判断した内容であり、潜在的风险および不確実性が含まれます。このため、今後様々な要因の変化によって、実際の業績は記述されている内容と大きく異なる場合があることをご承知おきください。
- 本資料で使用している数値は、億円未満は切り捨ててあります。



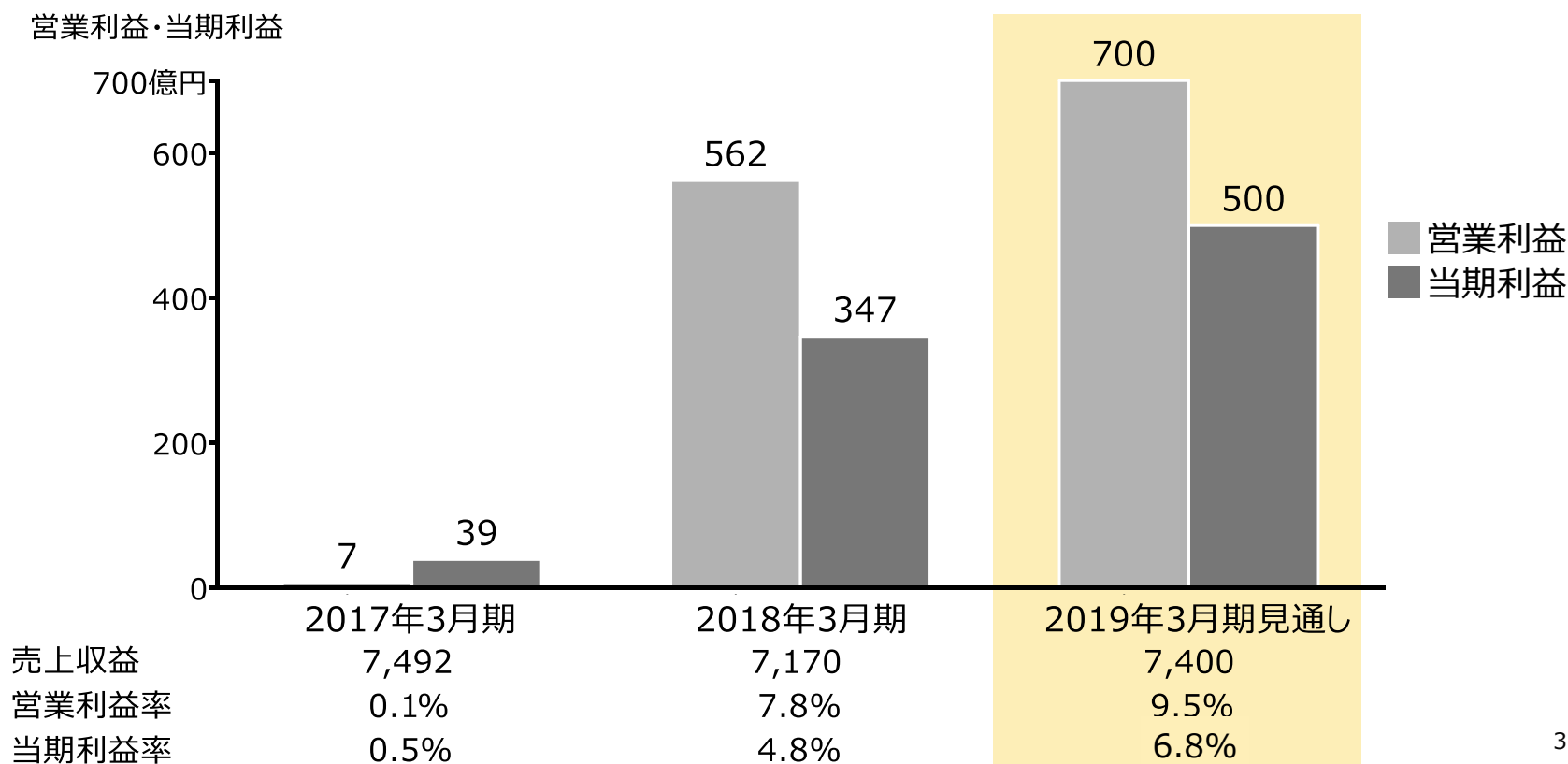
Nikon  
*100*<sup>th</sup>  
anniversary

株式会社 **ニコン**

## 業績概況と今後の経営方針

代表取締役 兼 社長執行役員 牛田 一雄

- 2018年3月期：** 構造改革による固定費削減と事業戦略転換で、映像・精機事業中心に収益性が改善、前年比で営業利益は500億円以上、当期利益は300億円以上の増益
- 2019年3月期：** 営業利益はFPD事業が全体を牽引、約140億円の増益見通し  
 当期利益は税負担の減少もあり、500億円の増益見通し



## 事業環境認識

- **映像事業**：市場は引き続き縮小する認識
- **精機事業**：2019年以降のFPD設備投資動向は不透明
- **ヘルスケア事業**：成長市場への期待は大きいが時間を要する
- **産業機器・その他**：成長市場領域の見極めが重要

## 構造改革

### 順調

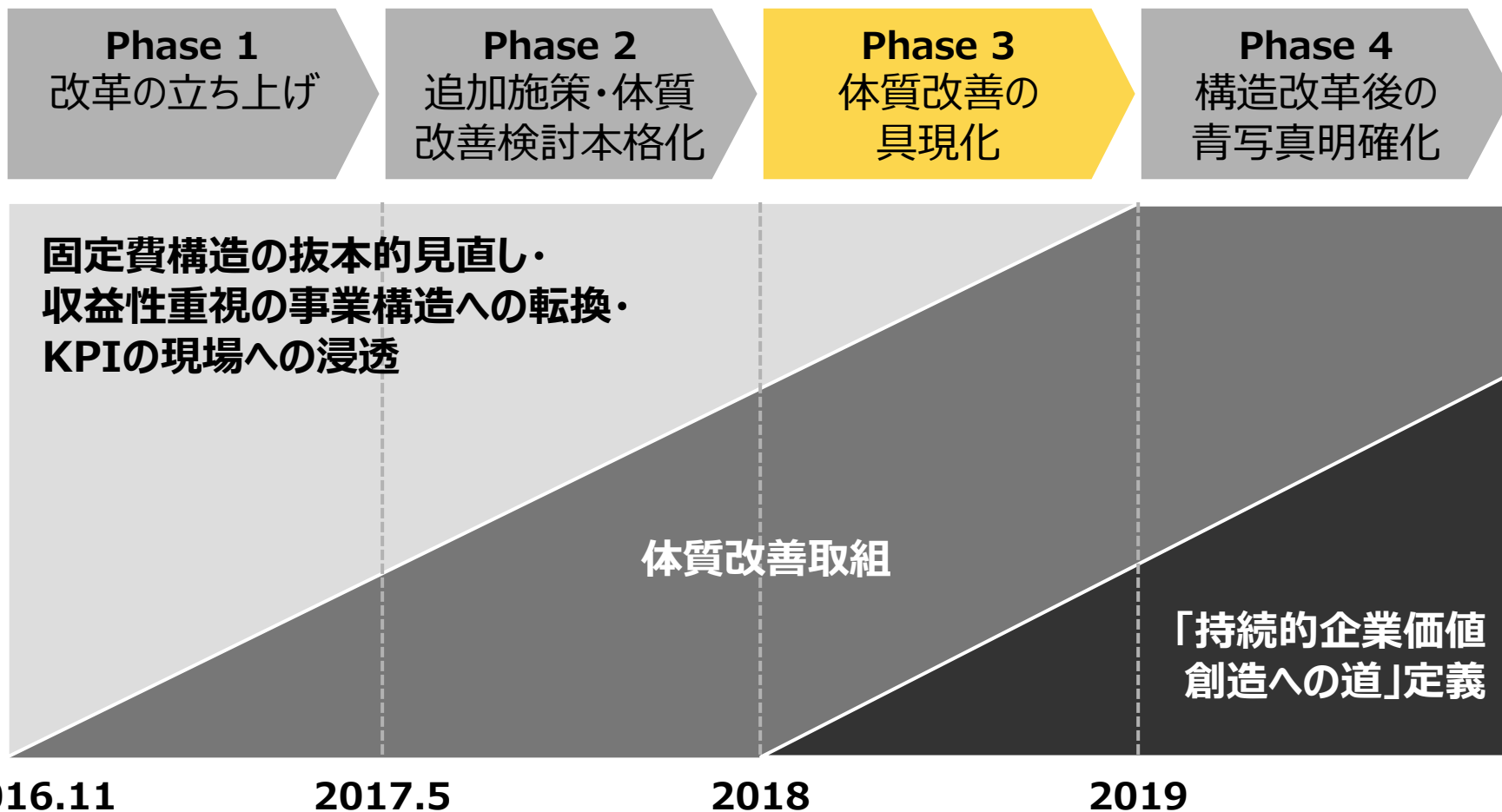
- **事業戦略**：選択と集中、収益性改善は計画通り進捗
- **固定費構造**：希望退職の実施、映像事業の中国工場操業停止等300億円超の固定費削減を実行
- **ROE/ROICに基づく事業運営**：目標を分解して現場へ展開中

### 残る課題

- **ポートフォリオ経営**：事業譲渡等から始動、資源の再配分に着手
- **コーポレートガバナンス**：より透明で規律ある体制の構築へ

経営体質改善は来期以降も継続

## 構造改革の4フェーズ



構造改革後を見据えて残る課題に徹底的に取り組む



Nikon <sup>(th)</sup>  
100  
anniversary

株式会社 ニコン

# 2018年3月期 決算概要 2019年3月期 見通し

代表取締役 兼 副社長執行役員 兼 CFO 岡 昌志

1. 2018年3月期の概要

2. 2019年3月期 通期見通し

## 前年比

- **全社営業利益：555億円増の562億円**  
(構造改革関連費用控除前：前年比108億円増の649億円)
  - **映像事業**：市場縮小の中、固定費削減と高付加価値製品への注力で増益を確保
  - **精機事業**：半導体装置事業は計画通り黒字化を達成  
半導体の大幅な収益改善がFPDの減益を上回る

前回  
予想比

- **全社営業利益：32億円上振れして562億円**
  - **映像事業**：Q4の市場が想定以上に弱く営業利益は38億円減
  - **精機事業**：サービス事業好調と収益性改善で営業利益は43億円増
- **FCF：前受金の増加等により302億円上振れ**

年間  
配当金

- 配当性向40%以上の株主還元方針に沿って  
前回予想31円から36円へ引き上げ（前年は16円）



# 2018年3月期：連結売上収益・損益



単位：億円	17年3月期 実績	前回予想 (2/8)	18年3月期 実績	前年 実績比	前回 予想比
<b>売上収益</b>	7,492	<b>7,200</b>	<b>7,170</b>	<b>▲322</b>	<b>▲30</b>
<b>営業利益</b>	7	<b>530</b>	<b>562</b>	<b>+555</b>	<b>+32</b>
売上収益比	0.1%	7.4%	7.8%		
<b>税引前利益</b>	30	<b>520</b>	<b>562</b>	<b>+532</b>	<b>+42</b>
売上収益比	0.4%	7.2%	7.8%		
<b>当期利益</b> (親会社の所有者に帰属)	39	<b>300</b>	<b>347</b>	<b>+308</b>	<b>+47</b>
売上収益比	0.5%	4.2%	4.8%		
<b>FCF</b>	566	<b>600</b>	<b>902</b>	<b>+336</b>	<b>+302</b>
為替：USDドル	108円	<b>111円</b>	<b>111円</b>	売上収益への影響額	
				+206	+11
ユーロ	119円	<b>129円</b>	<b>130円</b>	営業利益への影響額	
				+50	▲3

前受金の増加等によりFCFは大幅増

# 2018年3月期：セグメント別業績

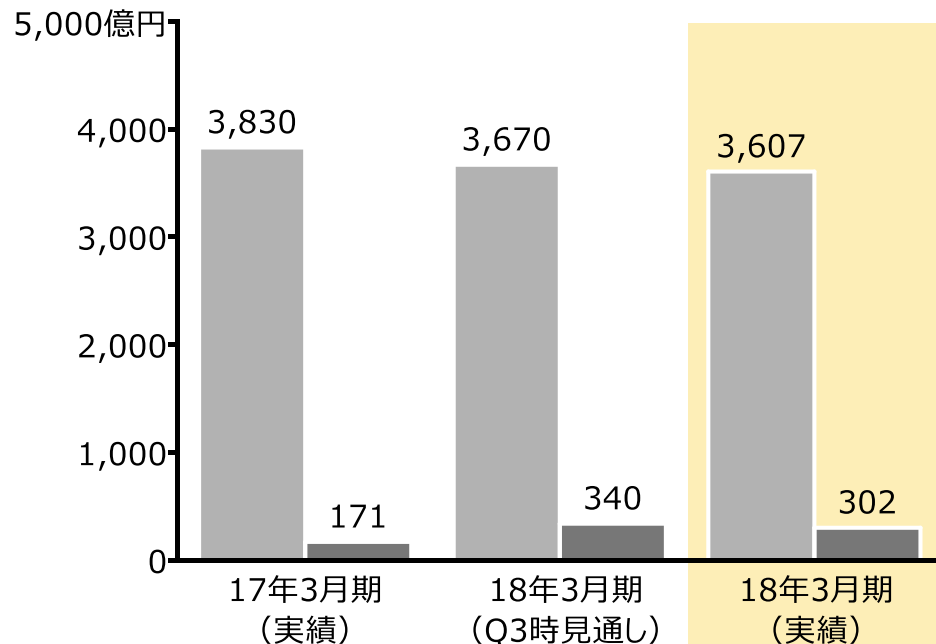


単位：億円		17年3月期 実績	前回予想 (2/8)	18年3月期 実績	前年 実績比	前回 予想比
映像事業	売上収益	3,830	3,670	3,607	▲5.8%	▲1.7%
	営業利益	171 (281)	340 (400)	302 (360)	+131億円	▲38億円
精機事業	売上収益	2,480	2,260	2,263	▲8.8%	+0.1%
	営業利益	134 (481)	490 (490)	533 (533)	+399億円	+43億円
ヘルスケア事業	売上収益	557	570	568	+2.0%	▲0.4%
	営業利益	▲6 (▲1)	▲40 (▲40)	▲32 (▲32)	▲26億円	+8億円
産業機器・その他	売上収益	624	700	732	+17.3%	+4.6%
	営業利益	37 (55)	20 (50)	50 (78)	+13億円	+30億円
各セグメントに配賦 されない全社損益	売上収益	-	-	-	-	-
	営業利益	▲328 (▲275)	▲280 (▲280)	▲291 (▲291)	+37億円	▲11億円
連結	売上収益	7,492	7,200	7,170	▲4.3%	▲0.4%
	営業利益	7 (541)	530 (620)	562 (649)	+555億円	+32億円

注：営業利益の（ ）内数値は、構造改革関連費用を除いた値

売上収益・営業利益

■売上収益 ■営業利益



## レンズ交換式デジタルカメラ (万台)

市場規模	1,177	1,100	1,141
ニコン	310	260	262

## 交換レンズ (万本)

市場規模	1,920	1,800	1,906
ニコン	462	400	401

## コンパクトデジタルカメラ (万台)

市場規模	1,260	1,140	1,196
ニコン	319	260	251

## ● 売上収益：前年比223億円減収

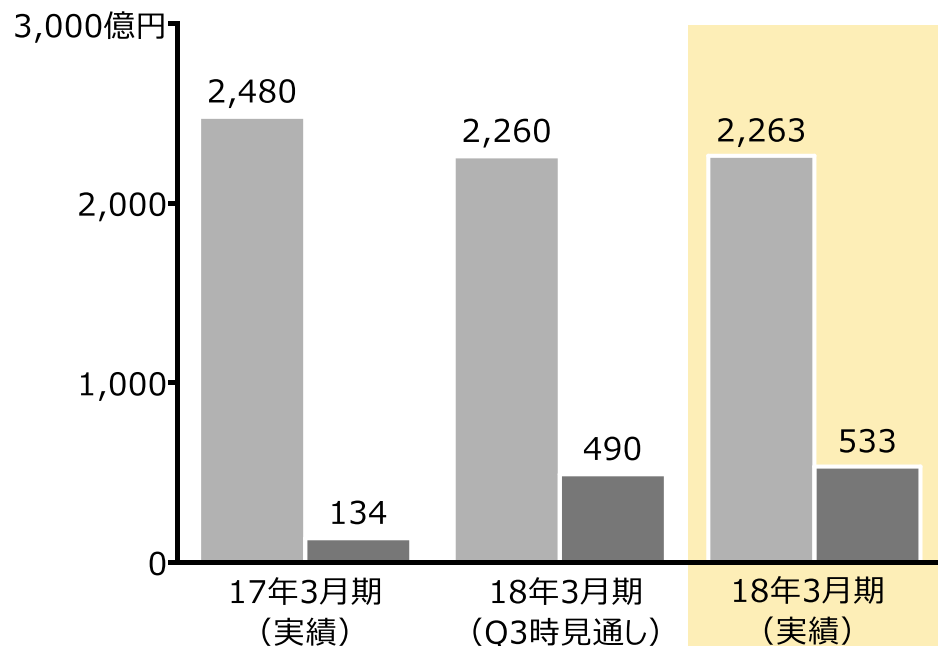
- カメラ市場の縮小が継続し、各カテゴリで販売台数が減少
- 前回 (Q3) 見通しに対して、コンパクトカメラ等の台数未達や一眼レフの製品ミックスの変化により計画には届かず

## ● 営業利益：前年比131億円増益

- 17年3月期の営業利益は281億円 (構造改革関連費用控除前)
- 18年3月期の営業利益は前年比79億円増の360億円 (構造改革関連費用控除前)
- 高付加価値製品への選択と集中、固定費削減で、市場縮小による減益影響を打ち消す
- 前回 (Q3) 見通しに対して、減収による減益影響に加え、製品在庫の廃棄増により、計画未達

売上収益・営業利益

■売上収益 ■営業利益



## FPD露光装置販売台数 (台)

	17年3月期 (実績)	18年3月期 (Q3時見通し)	18年3月期 (実績)
市場規模 (CY16/17)	128	149	149
ニコン	92	68	67

## 半導体露光装置販売台数 (新品/中古、台)

	17年3月期 (実績)	18年3月期 (Q3時見通し)	18年3月期 (実績)
市場規模 (CY16/17)	210	240	240
ニコン	24/11	17/12	17/13

## ● 売上収益：前年比217億円減収

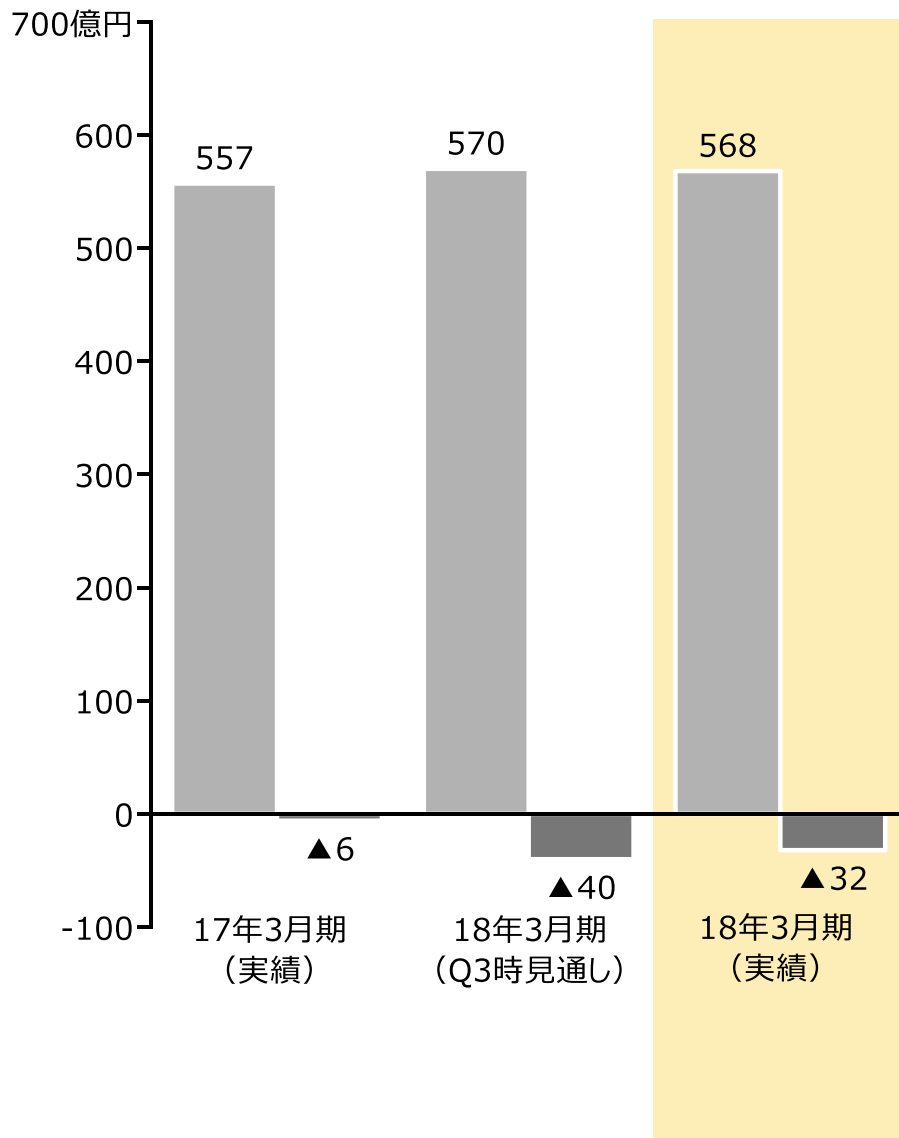
- FPD：台数減少にともない減収  
10.5世代装置は計画通り3台売上
- 前回 (Q3) 予想に対しては、FPD装置1台期ずれによる減収影響をFPD・半導体のサービス収入増加等でカバー

## ● 営業利益：前年比399億円増益

- 17年3月期の営業利益481億円 (構造改革関連費用控除前) を52億円上回る
- FPD：減収影響に加え、製品ミックスの変化により減益
- 半導体：事業戦略の見直しと人員の最適化で収益大幅改善、黒字化達成
- 前回 (Q3) 見通しに対して、サービス収益改善と原価低減が進み利益上振れ

## 売上収益・営業利益

■売上収益 ■営業利益



### ● 売上収益：前年比11億円増収

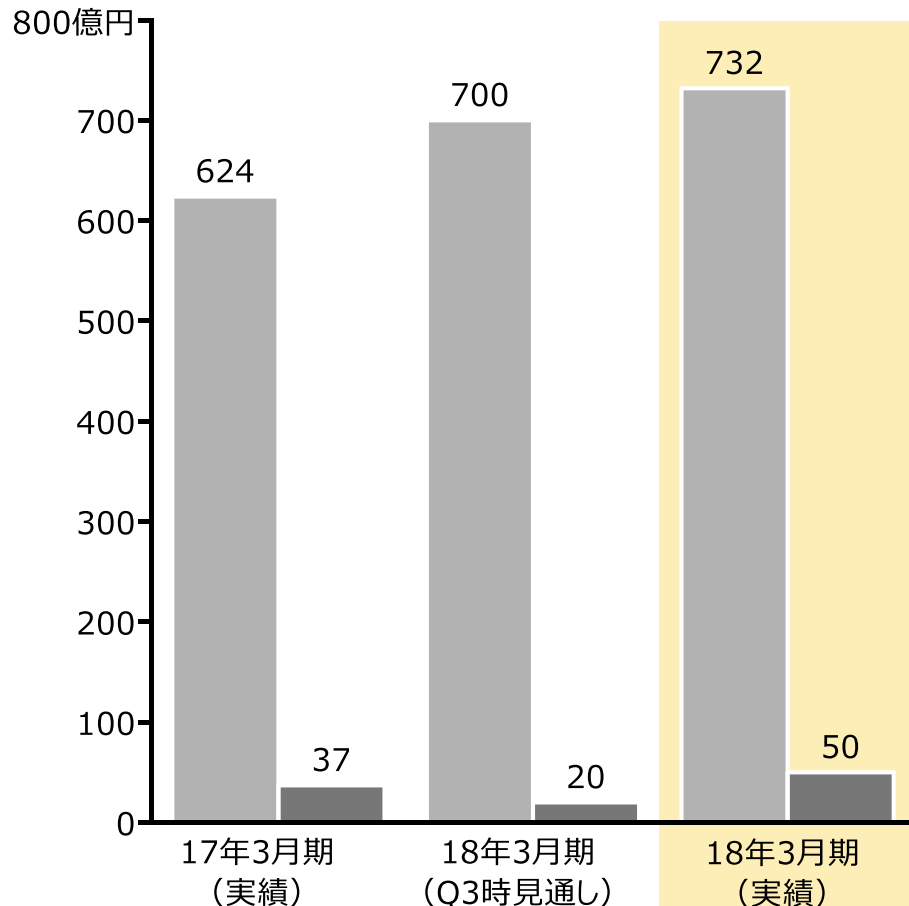
- バイオサイエンス分野：海外の政府関連予算執行遅れの影響により前年比減収
- 眼科診断分野：販売強化策が奏功し前年比増収

### ● 営業利益

- 17年3月期の営業利益は▲1億円（構造改革関連費用控除前）
- バイオサイエンス分野：再生医療関連の立ち上げ費用が増加
- 眼科診断分野：網膜画像診断機器は堅調だが、ビジネス拡大に向けた先行投資拡大
- 前回（Q3）見通しに対して、開発投資の一部後ろ倒しもあり赤字幅縮小

## 売上収益・営業利益

■売上収益 ■営業利益



### ● 売上収益：前年比108億円増収

- 産業機器：X線検査装置や画像測定システム等の販売が拡大
- その他：ガラス事業等が増収
- 前回（Q3）予想に対しては産業機器、その他事業ともに計画を上回る

### ● 営業利益：前年比13億円増益

- 17年3月期の営業利益は55億円（構造改革関連費用控除前）
- 18年3月期の営業利益は前年比23億円増の78億円（構造改革関連費用控除前）
- 前回（Q3）見通しに対して、CMM事業譲渡に伴う一時費用は計画通り増収による増益で利益上振れ

1. 2018年3月期の概要

2. 2019年3月期 通期見通し

2019年3月期  
売上収益

- **全社見通し：前期比230億円増収の7,400億円**
  - **映像事業**：市場の縮小が継続、為替影響により減収を見込む
  - **精機事業**：主にFPD10.5世代装置の台数増により増収見込む

2019年3月期  
営業利益

- **全社見通し：前期比138億円増益の700億円**
  - **映像事業**：減収による減益影響はあるものの、構造改革により収益力は着実に向上。営業利益率は9%以上を見込む
  - **精機事業**：FPD装置事業は大幅増益の見通し

2019年3月期  
当期利益

- **全社見通し：前期比153億円増益の500億円**
  - **ROE**：収益性の向上により8%以上となる見通し
  - **税金費用**：前年の一時的な税金負担が減少するため、税金費用は減少する見通し



# 2019年3月期 通期見通し：連結売上収益・損益



単位：億円	18年3月期実績	19年3月期見通し	前年実績比
<b>売上収益</b>	7,170	<b>7,400</b>	<b>+230</b>
<b>営業利益</b>	562	<b>700</b>	<b>+138</b>
売上収益比	7.8%	9.5%	
<b>税引前利益</b>	562	<b>700</b>	<b>+138</b>
売上収益比	7.8%	9.5%	
<b>当期利益</b> (親会社の所有者に帰属)	347	<b>500</b>	<b>+153</b>
売上収益比	4.8%	6.8%	
<b>FCF</b>	902	<b>600</b>	<b>▲302</b>
<b>為替：USドル</b>	111円	<b>105円</b>	売上収益への影響額 <b>約▲160</b>
<b>ユーロ</b>	130円	<b>130円</b>	営業利益への影響額 <b>約▲20</b>

**利益配分方針：配当性向40%以上 年間配当金：未定**

注：19年3月期からの収益認識基準変更に伴い、従来販売管理費として計上していた販売促進費の一部を売上収益から控除  
18年3月期の売上収益は控除前、19年3月期見通しの売上収益は約70億円の控除後の金額

# 2019年3月期 通期見通し：セグメント別業績

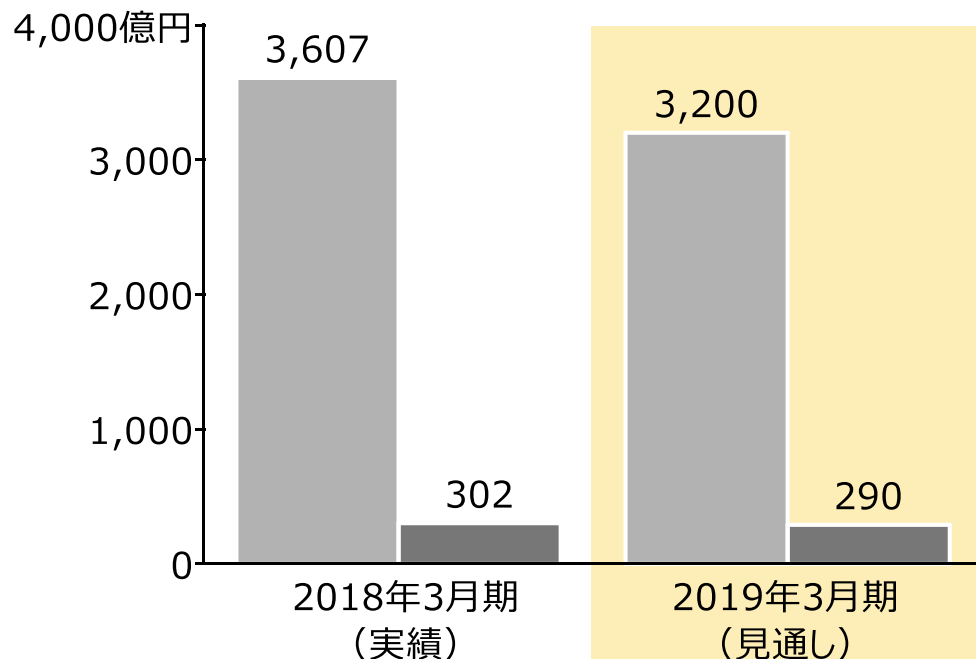


単位：億円		18年3月期実績	19年3月期見通し	前年実績比
映像事業	売上収益	3,607	<b>3,200</b>	▲11.3%
	営業利益	302 (360)	<b>290</b> <b>(310)</b>	▲12億円
精機事業	売上収益	2,263	<b>2,820</b>	+24.6%
	営業利益	533 (533)	<b>680</b> <b>(680)</b>	+147億円
ヘルスケア事業	売上収益	568	<b>630</b>	+10.9%
	営業利益	▲32 (▲32)	<b>▲40</b> <b>(▲40)</b>	▲8億円
産業機器・その他	売上収益	732	<b>750</b>	+2.5%
	営業利益	50 (78)	<b>60</b> <b>(60)</b>	+10億円
各セグメントに配賦 されない全社損益	売上収益	—	—	—
	営業利益	▲291 (▲291)	<b>▲290</b> <b>(▲290)</b>	+1億円
連結	売上収益	7,170	<b>7,400</b>	+3.2%
	営業利益	562 (649)	<b>700</b> <b>(720)</b>	+138億円

注：19年3月期からは、従来販売管理費として計上していた販売促進費の一部を売上収益から控除。19年3月期見通しの売上収益は約70億円の控除後の金額  
営業利益の（ ）内数値は、構造改革関連費用を除いた値

## 売上収益・営業利益

■ 売上収益 ■ 営業利益



### レンズ交換式デジタルカメラ (万台)

市場規模	1,141	1,000
ニコン	262	230

### 交換レンズ (万本)

市場規模	1,906	1,650
ニコン	401	340

### コンパクトデジタルカメラ (万台)

市場規模	1,196	900
ニコン	251	180

## ● 売上収益：407億円の減収

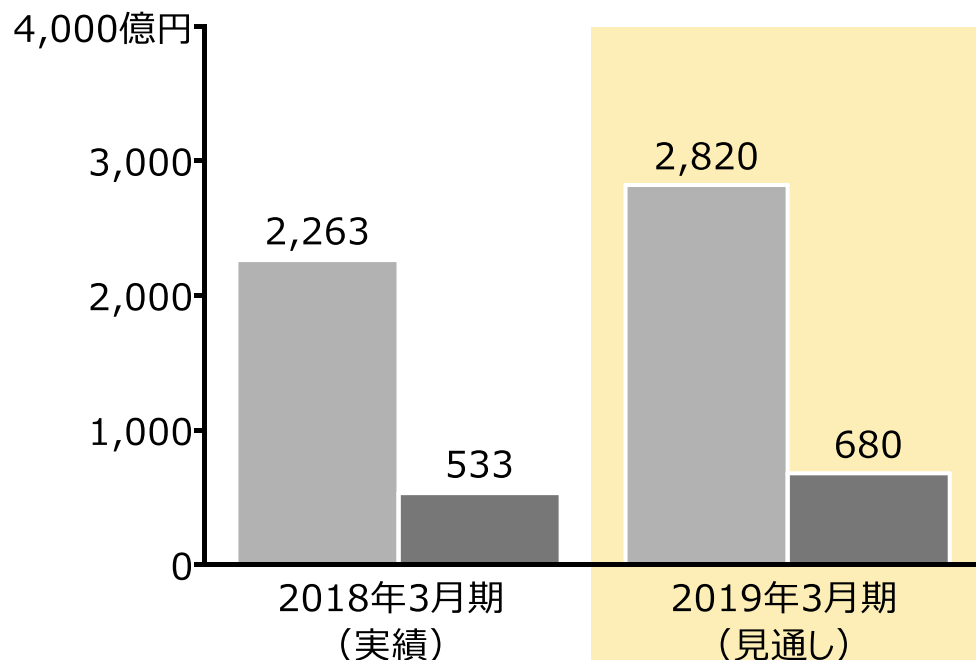
- カメラ市場の縮小が継続、各カテゴリで販売台数減少

## ● 営業利益：12億円減益

- 2018年3月期営業利益は360億円（構造改革関連費用控除前）
- 2019年3月期の営業利益は、前期比50億円減の310億円の見通し（構造改革関連費用控除前）
- 減収の中でも、固定費削減と高付加価値製品へのシフトにより、営業利益率は9%台を確保

売上収益・営業利益

■売上収益 ■営業利益



## FPD露光装置販売台数 (台)

市場規模 (CY17/18)	2018年3月期 (実績)	2019年3月期 (見通し)
市場規模 (CY17/18)	149	150
ニコン	67	70

## 半導体露光装置販売台数 (新品/中古、台)

市場規模 (CY17/18)	2018年3月期 (実績)	2019年3月期 (見通し)
市場規模 (CY17/18)	240	260
ニコン	17/13	23/12

## ● 売上収益：557億円増収

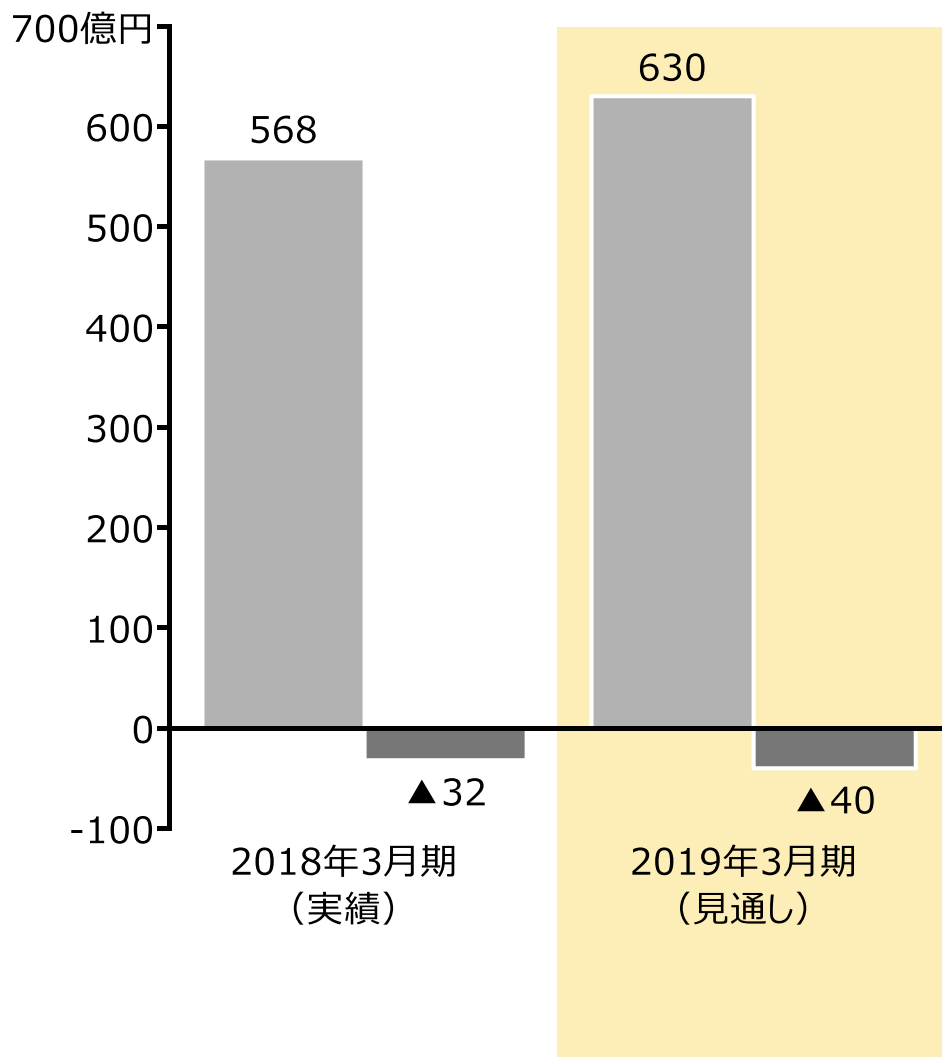
- FPD：製品ミックス変化により増収
  - ▶ 中小型パネル向け装置減少を大型パネル向け装置増加で補完
  - ▶ 10.5世代装置は前年3台から18台に大幅増加
- 半導体：顧客の設備投資が堅調に推移し、販売台数増加

## ● 営業利益：147億円増益

- FPD：増収により大幅増益
- 半導体：2期連続の黒字化で黒字体質定着

## 売上収益・営業利益

■ 売上収益 ■ 営業利益



### ● 売上収益：62億円増収

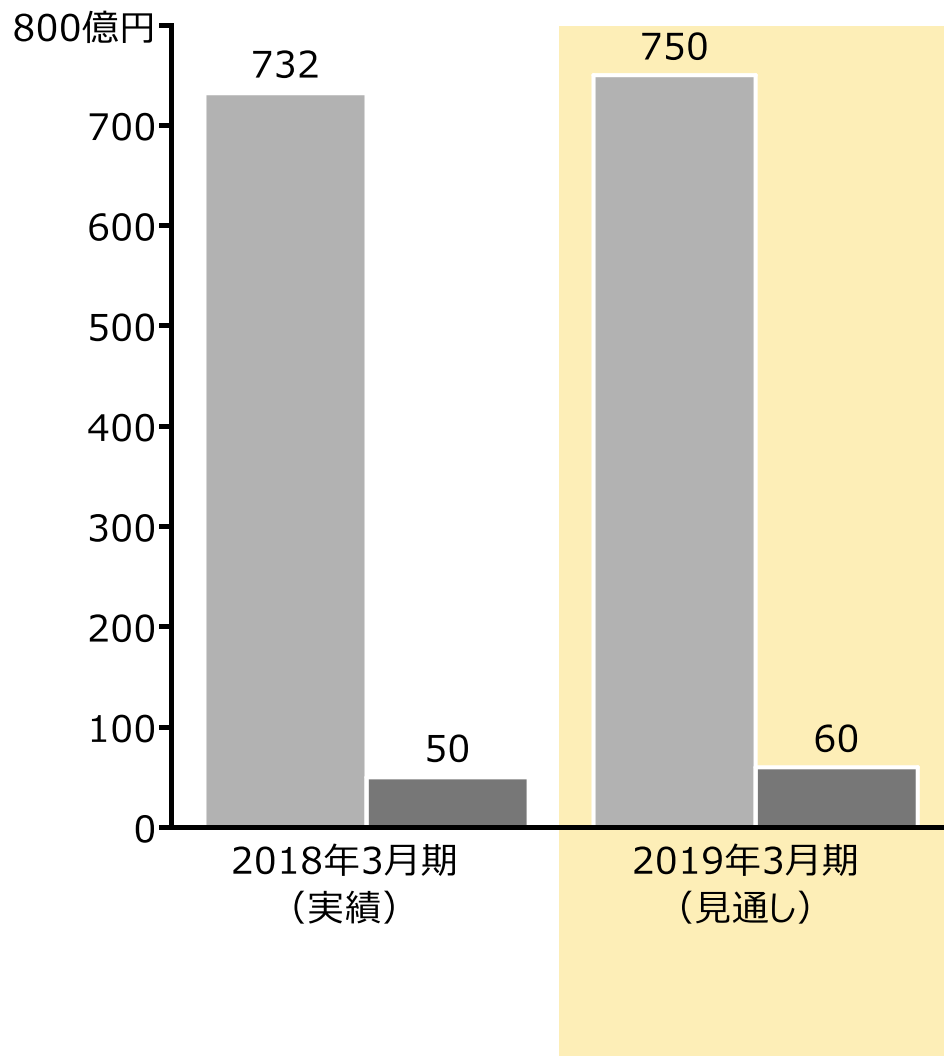
- バイオサイエンス分野：北米・中国を中心に海外の市況好転により、増収を見込む
- 眼科診断分野：網膜画像診断機器市場は堅調に推移。新製品の投入も寄与し、増収を見込む

### ● 営業利益

- 再生医療関連および眼科診断領域でのビジネス拡大に向けた投資継続

売上収益・営業利益

■ 売上収益 ■ 営業利益



## ● 売上収益：18億円増収

- 産業機器：CMM事業譲渡に伴う減収をX線検査装置等の販売拡大でほぼカバー

## ● 営業利益：10億円増益

- 2018年3月期営業利益は78億円（構造改革関連費用控除前）
- セグメント全体ではコンポーネント事業等、将来の成長に向けた投資を増加



*Nikon* (th)  
*100*  
*anniversary*

**NIKON CORPORATION**

# 參考資料



# 2019年3月期 通期見通し：連結売上収益・損益



単位：億円	18年3月期実績			19年3月期見通し		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期
<b>売上収益</b>	3,284	3,886	7,170	<b>3,400</b>	<b>4,000</b>	<b>7,400</b>
<b>営業利益</b>	230	332	562	<b>250</b>	<b>450</b>	<b>700</b>
売上収益比	7.0%	8.5%	7.8%	7.4%	11.3%	9.5%
<b>税引前利益</b>	214	348	562	<b>250</b>	<b>450</b>	<b>700</b>
売上収益比	6.5%	9.0%	7.8%	7.4%	11.3%	9.5%
<b>当期利益</b> (親会社の所有者に帰属)	139	208	347	<b>170</b>	<b>330</b>	<b>500</b>
売上収益比	4.2%	5.4%	4.8%	5.0%	8.3%	6.8%
<b>FCF</b>	902			600		
<b>為替：USドル</b>	111円	111円	111円	<b>105円</b>		
<b>ユーロ</b>	126円	133円	130円	<b>130円</b>		

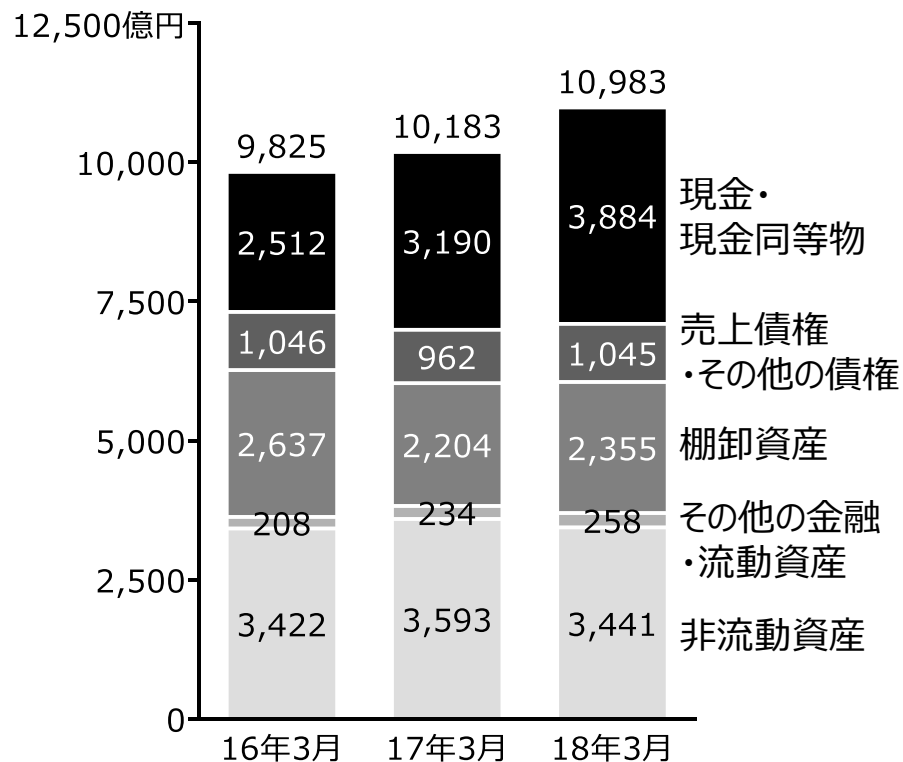
# 2019年3月期 通期見通し：セグメント別業績



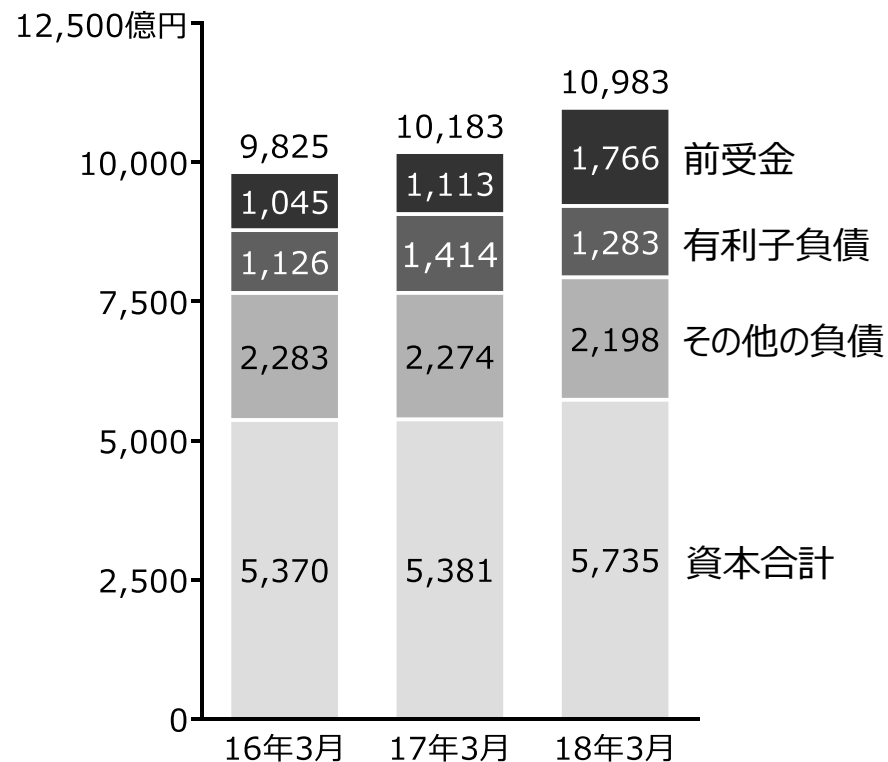
単位：億円		18年3月期実績			19年3月期見通し		
		上期	下期	通期	上期	下期	通期
映像事業	売上収益	1,752	1,855	3,607	<b>1,500</b>	<b>1,700</b>	<b>3,200</b>
	営業利益	154 (154)	148 (206)	302 (360)	<b>110</b> <b>(130)</b>	<b>180</b> <b>(180)</b>	<b>290</b> <b>(310)</b>
精機事業	売上収益	980	1,283	2,263	<b>1,320</b>	<b>1,500</b>	<b>2,820</b>
	営業利益	201 (201)	332 (332)	533 (533)	<b>330</b> <b>(330)</b>	<b>350</b> <b>(350)</b>	<b>680</b> <b>(680)</b>
ヘルスケア事業	売上収益	252	316	568	<b>260</b>	<b>370</b>	<b>630</b>
	営業利益	▲21 (▲21)	▲11 (▲11)	▲32 (▲32)	<b>▲50</b> <b>(▲50)</b>	<b>10</b> <b>(10)</b>	<b>▲40</b> <b>(▲40)</b>
産業機器・その他	売上収益	298	434	732	<b>320</b>	<b>430</b>	<b>750</b>
	営業利益	15 (15)	35 (63)	50 (78)	<b>10</b> <b>(10)</b>	<b>50</b> <b>(50)</b>	<b>60</b> <b>(60)</b>
各セグメントに配賦 されない全社損益	売上収益	—	—	—	—	—	—
	営業利益	▲119 (▲119)	▲172 (▲172)	▲291 (▲291)	<b>▲150</b> <b>(▲150)</b>	<b>▲140</b> <b>(▲140)</b>	<b>▲290</b> <b>(▲290)</b>
連結	売上収益	3,284	3,886	7,170	<b>3,400</b>	<b>4,000</b>	<b>7,400</b>
	営業利益	230 (230)	332 (419)	562 (649)	<b>250</b> <b>(270)</b>	<b>450</b> <b>(450)</b>	<b>700</b> <b>(720)</b>

注：営業利益の（ ）内数値は、構造改革関連費用を除いた値

## 資産



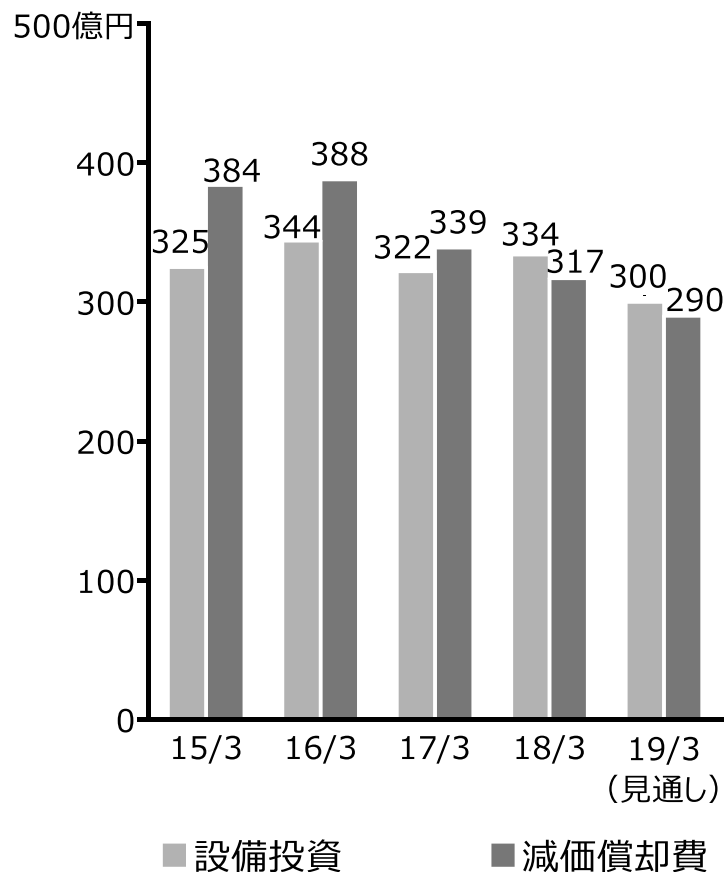
## 負債・資本



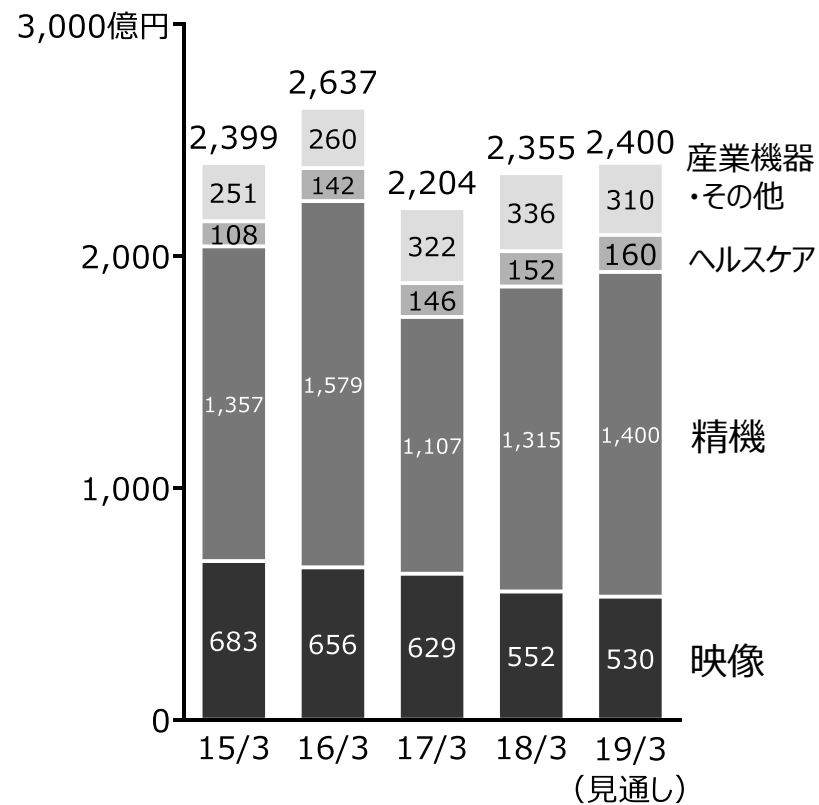
自己資本比率 54.6% 52.8% 52.2%

注：自己資本比率 = 親会社所有者帰属持分比率、現金・現金同等物には3ヶ月超の定期預金残高を含めず表示

## 設備投資・減価償却費

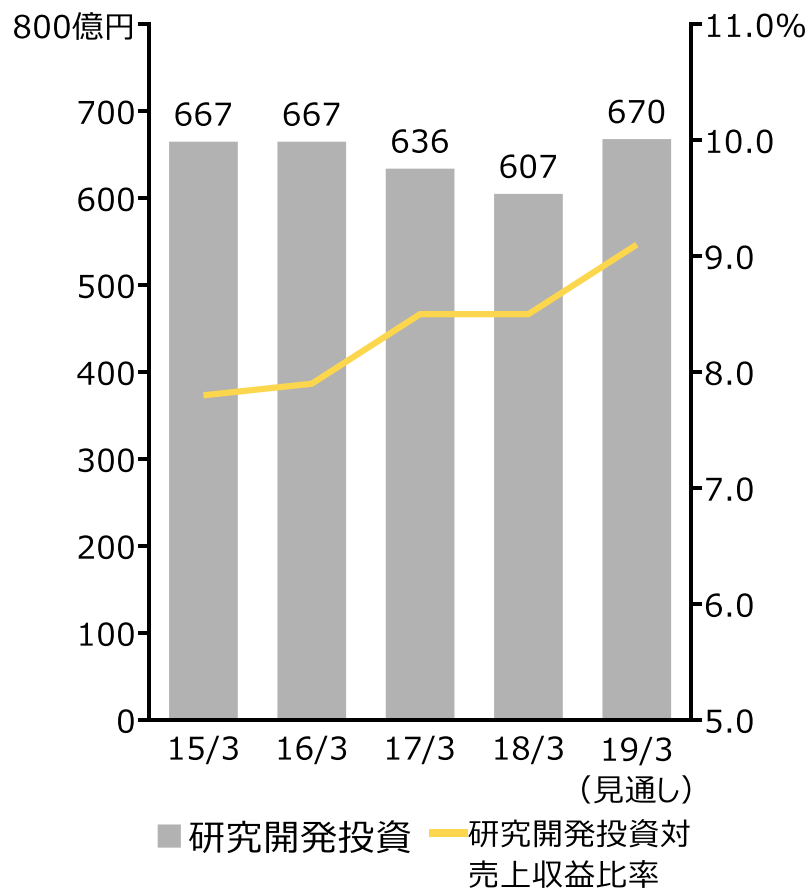


## 棚卸資産

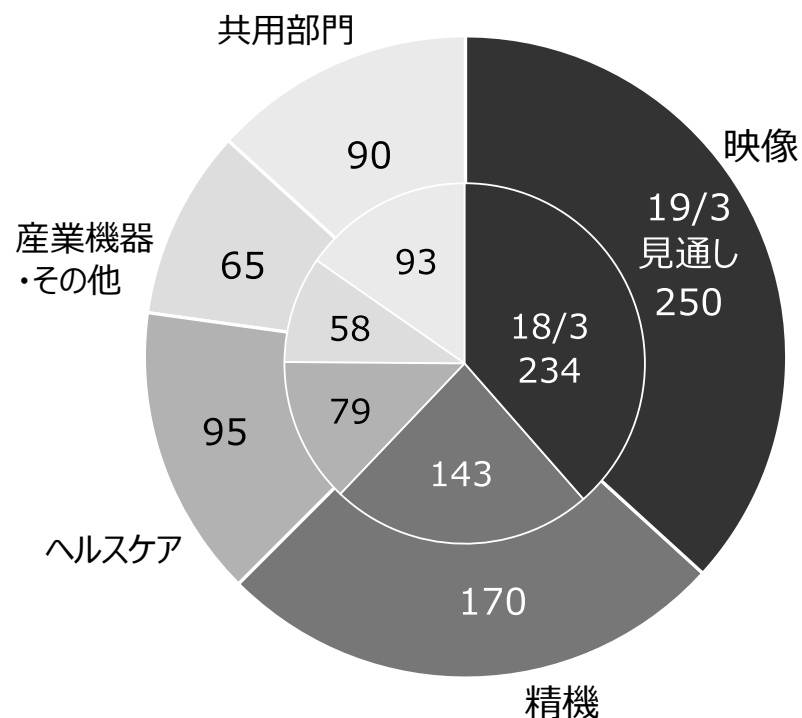


注：2015年3月期は日本基準、2016年3月期以降は国際会計基準（IFRS）で表示  
 「減価償却費」の2017年3月期以降は仕掛開発費の償却も含めて表示、「棚卸資産」の2016年3月期以前は現セグメントに基づく組替表示

## 研究開発投資

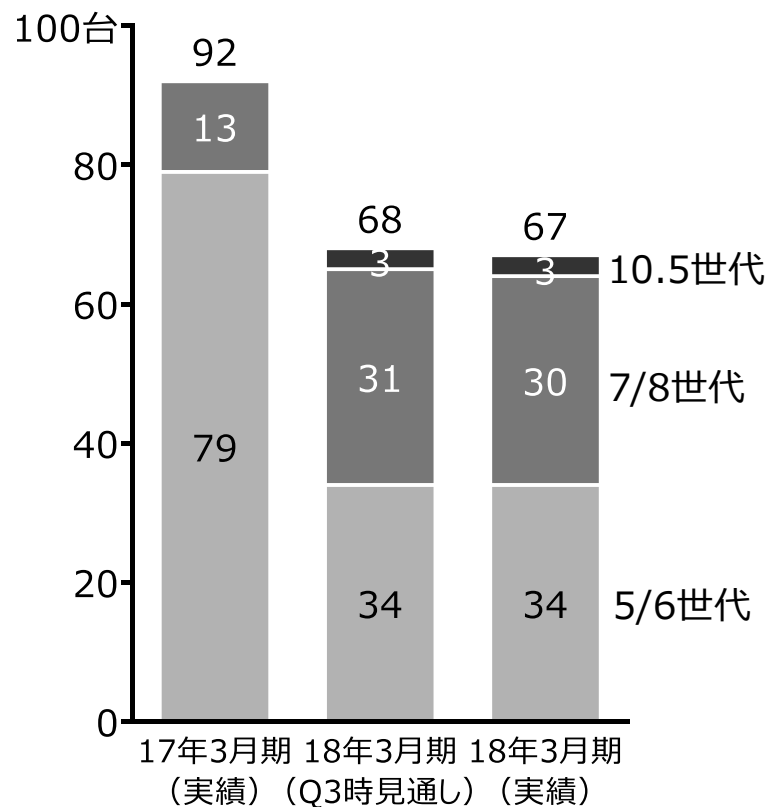


## 研究開発投資内訳

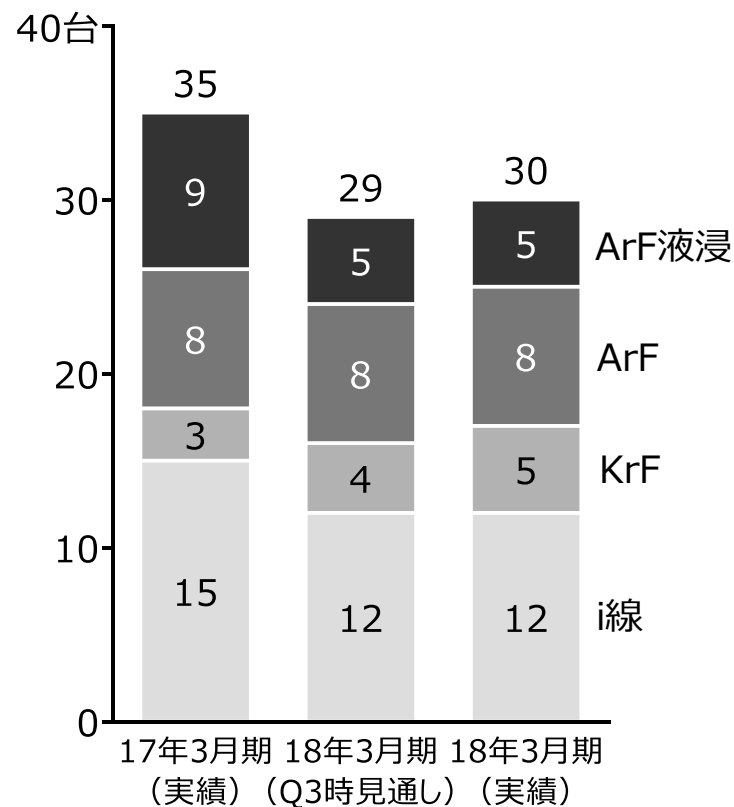


注：「研究開発投資」には、2017年3月期以降に行っている開発投資の一部資産化も含めて表示。前期セグメント変更を踏まえて、内訳は2期分のみ表示

### FPD露光装置世代別販売台数

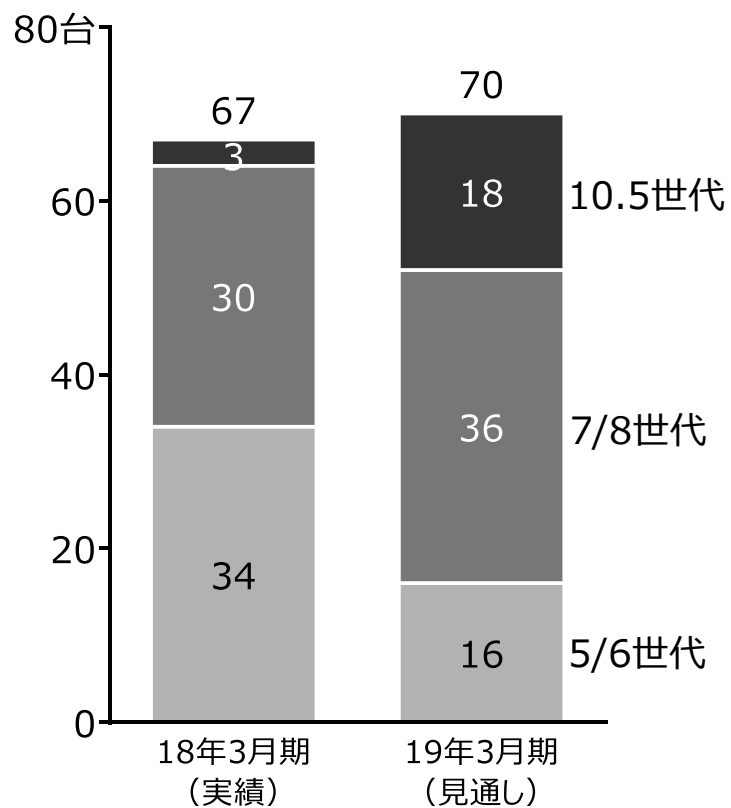


### 半導体露光装置光源別販売台数 (中古含む)

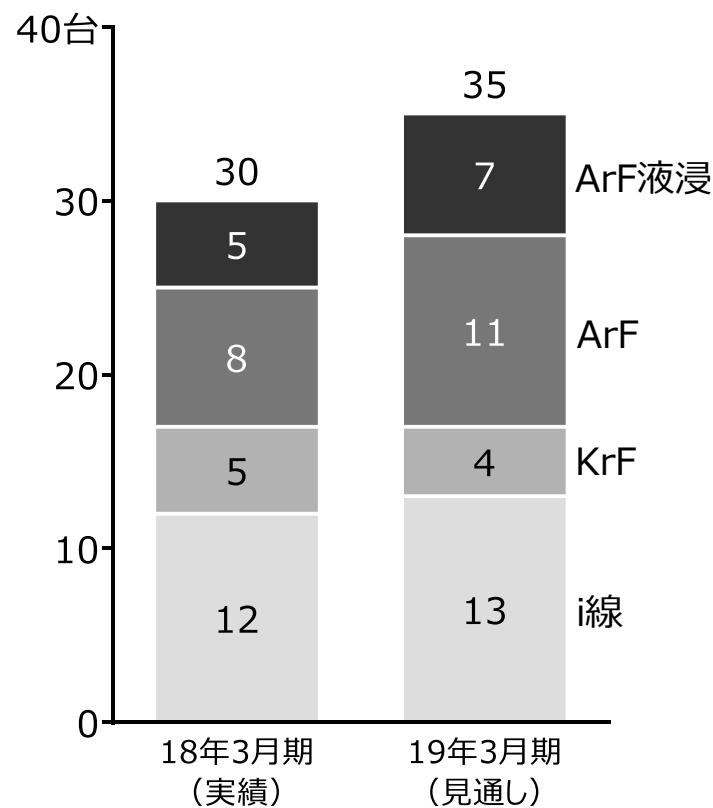


注：半導体露光装置の新品の台数は、2017年3月期は24台、2018年3月期は17台

### FPD露光装置世代別販売台数



### 半導体露光装置光源別販売台数 (中古含む)



注：半導体露光装置の新品の台数は、2018年3月期は17台、2019年3月期は23台

	為替レート	1円の変動による影響額	
	19年3月期 前提	売上収益	営業利益
USドル	105円	約27億円	約3億円
ユーロ	130円	約8億円	約4億円





*Nikon* (th)  
*100*  
*anniversary*

**NIKON CORPORATION**